

Shell Gelco Oil 5000 Series

シェル ゲルコ オイル 5000 シリーズ

ー高級ハイポイドギヤ油ー

シェル ゲルコオイル 5000 シリーズ は高速走行をはじめとし、衝撃荷重を受ける急発進・急停止など、あらゆる過酷な走行条件における乗用車、トラック、バスそして建設機械などすべての車輛のデファレンシャルギヤ用潤滑油として最高級のハイポイドギヤ油です。

シェル ゲルコオイル 5000 シリーズは、3 種類の粘度グレードを用意していますので用途により使い分けて下さい。

シェル ゲルコオイル 5080 : SAE80

シェル ゲルコオイル 5090 : SAE90

シェル ゲルコオイル 5140 : SAE85W-140

・API サービス分類 : GL-5

・米軍規格 : MIL-L-2105B

■シェル ゲルコ オイル 5000 シリーズ の特徴

1. 耐荷重性、耐摩耗性が優れています

シェル ゲルコ オイル 5000 シリーズ は厳選された、硫黄-リン系の極圧添加剤をバランス良く配合していますので衝撃荷重や、すべり速度の大きい過酷な走行条件下において、優れた潤滑性能を発揮し、焼付きの発生を防止し、ギヤ寿命を延ばすことができます。

2. 熱・酸化安定性が優れています

シェル ゲルコ オイル 5000 シリーズ は高度に精製された高品質基油に特殊な添加剤を配合しているので熱・酸化安定性が優れており、連続高速走行など高温条件下においても油の劣化による変質やスラッジの発生が極めて少ない長寿命ギヤ油です。

3. さび止め性能が優れています

シェル ゲルコ オイル 5000 シリーズ は厳選された防錆剤の配合により、さび止め性能が優れています。

4. 消泡性が優れています

シェル ゲルコ オイル 5000 シリーズ は厳選した消泡剤の配合により、潤滑の妨げとなる攪拌により発生する あわ立ちを抑え、優れた消泡性を示します。

5. 耐オイルシール性が優れています

シェル ゲルコ オイル 5000 シリーズ は厳選された各種添加剤をバランス良く配合していますので、ニトリルゴムやアクリルゴムなどのオイルシール材の膨潤や硬化が極めて少なく、優れた耐オイルシール性を示します。

シェル ゲルコ オイル 5000シリーズ 代表性状							
項目 粘度 グレード	密度 (15℃) g/cm ³	引火点 (開放式) ℃	流動点 ℃	色	動粘度 mm ² /s		粘度 指数
					@40℃	@100℃	
5080	0.893	206	−20.0	L2.0	80.7	10.0	104
5090	0.902	210	−15.0	L3.0	199.1	17.9	97
5140	0.910	208	−12.5	3.5	338.0	25.2	97

*代表性状値は、商品の改定により、予告せずに変わる場合があります。(2016-01)

シェル ゲルコ オイル 5000 シリーズ の販売荷姿 ： 200Lドラム 20L ペール缶
(但し、#5080 は 200Lドラムのみ)

■ 使用上の留意点

- ・他銘柄との混合は避けてください。混合することによりオイルの性能を低下させる場合がありますので、全量交換しでの使用することを、おすすめします。
- ・オイル交換をする場合は、ギヤボックス内に付着している摩耗粉や砂などが摩耗を促進しますので、フラッシングを行ってから新油を充填することをおすすめします。
- ・オイル中に、ゴミ・埃・水などが混入すると、摩耗・ギヤ鳴り・さびの発生など、ギヤ損傷の原因になりますので、オイルの保管・管理には充分注意してください。
- ・製品の海外輸出に際しては、輸出貿易管理令の該非判定だけでなく、その他の要件によって日本政府当局への許可申請が必要になる場合があります。また、仕向国の法規等により輸入制限を受ける場合もありますので、製品を自ら輸出されているお客様は、この点をご理解の上ご自身の責任で必要な措置を講じるようお願いいたします。ご不明な点がございましたら、ルブカスタマーサービスセンターまでお問い合わせください。

※本資料は、事業者様向けに作成されたものです。



取扱上の注意 ▼下記の注意事項に従ってお取扱いください。

＜＜取り扱い上の注意＞＞	
[安全対策]	・使用前にカタログ、SDSを入手し、全ての安全情報を読み理解するまで取り扱わないこと。 ・取り扱う際は保護具を使用すること。
[応急措置]	・飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。 ・無理に吐かせないこと。 ・飲み込むと下痢・嘔吐を起こすことがあります。 ・目に入ると炎症を起こすことがあります。目に入った場合は、清浄な水で最低 15 分間洗浄し、医師の手当てを受けること。 ・皮膚に触れると炎症を起こすことがあります。皮膚に付着した場合は、水と石鹸で十分に洗うこと。
[保管]	・直射日光を避け、換気の良い場所に保管すること。 ・ゴミ、水分などの混入防止のため使用後は密栓して保管すること。
[廃棄]	・内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。具体的には、都道府県知事等の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。 ・不明な場合は購入先に相談の上処理すること。

Ver.1. 2017.11.1